

## 進捗状況の概要

### ●全学共通の3つのポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）

本校教務部が主体となり、平成28年度中に策定し、公表するよう準備を進めている。

### ●授業計画（シラバス）の策定

自学自習を促進するため、従来より授業計画の各回に予習・復習の内容を記載してきた。今後、学修単位の導入により自学自習の明示化を求めるとともに、平成29年4月より高専機構共通のWebシラバスへ移行する。

### ●クォーター制（4学期制）の導入

本校にて展開する科目群の開講クォーターを各学科・専攻科にて検討した。特に専攻科の場合、1年次の第2クォーターを特別研究発展期と位置付け、ニューカッスル大学（オーストラリア）、国立聯合大学（台湾）、ナンヤンポリテクニク（シンガポール共和国）等の学術交流協定校における共同研究を含む最大5ヶ月の海外体験を可能とする枠組みとした。

### ●地域教育の拡充

平成27年度ものづくり教育（従来型地域教育）へ参加した学生数は76人、展開されたテーマ数は13テーマであり、いずれも前年度から増加した。近隣小学校における放課後学習支援として、平成27年度に1校（岬小学校）に対して週2回を目安に年間を通して実施した。本取組を宇部市内の小学校（ただし、本校から自転車で30分圏内）へ展開すべく、宇部市教育委員会と協働しつつ、学習支援の提供範囲・頻度を検討している段階である。さらに宇部市・宇部商工会議所が共同出資した「まちづくり会社」（株）にぎわい宇部および宇部市と協議し、「地域課題解決」テーマを探索した。

### ●長期インターンシップの開発・実践

長期インターンシップの先進校である長岡技術科学大学と長野高専における実施状況を調査し、インターンシップを円滑に進めるための事前指導や活動マニュアルの整備を開始した。

宇部市に加え、隣接する山口市・山陽小野田市および山口県東部の企業群に対して長期インターンシップ受入を働きかけ、10機関から受入可の協力を得た。

### ●海外体験プログラムの開発・実践

平成27年9月～平成28年3月、本校国際交流室とAP特命准教授が中心となり、オーストラリア、台湾、マレーシア、香港、シンガポールにおける大学・教育機関との間で長期海外体験プログラムの構築および派遣人数等の調整を行った。

特に国立聯合大学とは、化工系・電機系・資工系・文観系・経管系にて本校学生が自分の専攻に合わせた研究活動を実施できるようプログラムを調整した。

ナンヤンポリテクニクに対して、平成27年9月～12月に4人の教員を派遣し、英語による専門教育を実践するとともに、海外体験プログラムの開発を行い、平成28年度より約2カ月間の交換留学を実施することで合意した。その後、平成28年2月に教育・研究等分野での相互協力を目的とした学術交流協定を締結した。

### ●海外渡航安全管理ガイドブックの作成

平成27年度に第1版を作成し、平成28年3月の国立聯合大学への学生派遣時に活用した。本ガイドブックを用いて学生は事前に安全管理について学習し、E-learningを利用して学習内容を振り返ることができるようシステムを構築した。

併せて教員の危機管理意識の向上を目的としたスキルアップワークショップを開催し、海外派遣危機管理についての知識の習得、国際交流において発生したトラブルの事例報告、それに対する対処法についての情報共有を行った。